

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大山乳業飼料倉庫	階数	地上2F
建設地	鳥取県東伯郡琴浦町大字保	構造	S造
用途地域	区域区分非設定,防火地域指定なし	平均居住人員	8人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,008 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2022年4月25日
敷地面積	4,897 m ²	作成者	田中一義
建築面積	2,147 m ²	確認日	2022年4月27日
延床面積	2,441 m ²	確認者	田中一義



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	飼料品質を保ち、安全な環境や機能性、働きやすさなどを考慮した施設計画とした。	その他 特になし
Q1 室内環境	有害物質を発生させない建材を採用することにより、室内空気質を健全に保っている。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の街並みに対して圧迫感などないよう景観に調和した配置、高さ、色彩等に配慮している。
LR1 エネルギー	屋根、外壁に断熱材を使用し、冷暖房時における設備システムの効率化に努めている。また照明器具にLEDランプを採用し省エネ化に努めている。	LR3 敷地外環境 車輛出入口を2箇所確保し、敷地周囲の交通(周辺道路の渋滞緩和)に配慮した。
Q2 サービス性能	内装及び設備については増設可能な配慮をしている。	
LR2 資源・マテリアル	化学物質排出把握管理促進法による指定化学物質を含まない材料の使用に努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される